

CONTENTS ◆春のつどいレポート「みどりの街づくりガイド」完成披露会◆おくさわ今と昔◆奥沢の歴史を訪ねて
◆春のつどいレポート「広い河の岸边」奥沢コンサート ◆活動報告 ◆会からのお知らせ

春のつどいは3月20日奥沢東地区会館で、2年間かけて制作を続けてきた「みどりの街づくりガイド」を完成披露しました。会員、地域の方がた、町会、街づくり団体、区の関係者等49名の方々に参加頂きました。

春のつどい報告「みどりの街づくりガイド」完成披露会

堀内代表から、画像を表示しながら「みどりの街づくりガイド」冊子の紹介が行われた。

「奥沢の古い家に学ぶ」：今も残る昭和初期の住宅に共通するのは、住宅のスケールになじんで一体感の感じられる緑の配置、自然を感じさせる素材と色彩、そして通りからの見え方を意識した風景づくりで、このようなエッセンスを新しい建築にも活かしていきたい。

「奥沢・土とみどりの街づくり宣言」：土とみどりを守る会では「景観木」や「街並み選奨」を選定し、平成16年に「奥沢・土とみどりの街づくり宣言」を締結した。宣言の目標は「緑豊かな街並みを維持し、心安らぐ街にしていくための住環境づくり」で、活動の内容は、①街並みの調和を大切に、街の歴史を刻む建物など、語り継がれていく風景を皆で守る。②街並みに寄与している樹木を推奨し、周囲の住民の協力を得てその保全に努める。③街並みづくりや文化活動を通じて、ご近所付き合いを活性化し地域のコミュニケーションを深める活動をする。

これらの取り組みの趣旨は今でも変わらないが、その対象とする範囲が限られていたので、より広い範囲にお住まいの方々とアイデアを共有するためにこのガイドを制作した。

「景観木」とは：街の目印となっていて、良好な風景と環境の創造に貢献している木で、この価値をオーナーに伝え、理解していただくことで継承することを目指している。

「開かれた庭」とは：通りから見える緑を増やすような様々な工夫の事で、このガイドで紹介している事例は全て奥沢地区のもので、全て公開の了承を

いただいている。

「季節感のある街に」：花や実のなる植物は、季節の変化の感じられる風景を生みだしていく。玄関前のちょっとした空間、旗竿状敷地の通路部分、カーポートまたプランターでも、植栽や花で住まい手の個性が感じられる景観を生み出せる。

ご意見感想：「開かれた庭」というテーマに感動し候補の庭を地域の人々と手分けして探した。小さな集まるうを広げていきたい。・隣を合わせた3軒をつなげることが難しいどうしてつながるか工夫をしてほしい。・「開かれた庭」の調査で、会って話していくことが素晴らしい交流になった。住宅地が細分化しても、「開かれた庭」は小さな花を通じて隣近所に心がこもる仲間ができる。・奥沢2丁目小さな森」を多く公開して役立てたい。・成城に続いて、このような活動が広がるのは好ましいこと、「小さな森」もつながると大きな森になる。・気にしないで街を歩くと見逃す庭も、花を意識して歩くと気づく。誰にでもできる庭で、人に見てもらえる庭にすることが大切。・建替えるときに参考になるマニュアルができた。新しい人もここに来たいと思う町にできるとよい。・奥沢の写真だけでこの冊子ができたことに意義があるこの活動を広げてほしい。(鈴木)



(意見交換の風景)

土とみどりを守る会ではこの冊子を、奥沢の住民の方、奥沢に住みたいと思っている方、奥沢で住宅を作ろうとしている方等奥沢をみどり多く安全安心な街にしたいと思う方ならどなたにでも差し上げますので気軽に会へお問い合わせください。

お く さ わ 今 と 昔

(このシリーズでは毎回住民の方が登場し、この街にちなんだエピソードを語っていただいています。)

「このすばらしい街に生まれて」

奥沢1丁目 和田家 16代当主 和田 泰彦 (4頁写真参照)

今回、鈴木 仁さんのご縁で会報誌に寄稿させていただくことになりました和田泰彦と申します。昭和28年生まれの若輩者ですが鈴木さんと“奥沢地誌保存会”での活動で一緒させていただき奥沢についての興味深いお話をいろいろ楽しくお聞きするうちに今回、執筆の運びとなりました。

さて、私の育った時代は日本が経済的に豊かになりつつある大変平和な時代であったと思います。言うまでもありませんが戦争が無かったことがその理由にあげられます。識者によると世界中で70年も戦争をしなかった先進国は無いそうです。この素晴らしい時代の波になんとか乗って、この街奥沢で生きてこられたというのが実感として正直なところでしょうか。

奥沢も私が小さい頃にはまだ畑が点在しておりました。田んぼがあった記憶はありませんが我が家が耕作していた線路道(目蒲線)沿いの麦畑の中を動き回り身体中かゆみを感じたことがつい最近のように思い出します。奥沢で育った麦をどこに出荷してどんな食品、はたまたどんな家畜のえさになっただのか、今では亡父に聞く由もありません。とても懐かしい思い出です。私の家は代々百姓をして生きながらえてきました。平成4年ごろまで私の父は趣味で30坪ほどの畑で自家用に作物をつくっていました。

子供のころの友人と工大(東京工業大学)構内を駆けずり回り木登り、チャンバラ、ザリガニ釣り、いかだ遊び等をしたこともよい思い出です。都会の大学敷地内でも十分に自然と親しむことが出来たように思います。いかだ遊びの最中に瓢箪池に落ちてあわや死に損ねたことも苦い思い出です。この時、助けていただいた当時の工大の学生さんにお礼も言えなかったのが、今でも唯一心残りです。

小学生時代、同級生とその従弟さんとよく野球をしました。家の大人用の重たい自転車の荷台に野球道具を積んでバットを泥除けのわきに括り付け大汗をかきながら多摩川台公園と亀の甲山公園の間の道を登って広々とした多摩川河川敷が見えた時の風景が今でも臍に焼き付いています。

今の奥沢は住宅が建ち並びもう、畑もほとんど見

られなくなりましたがこれからも少しでも土と緑が残っていくことを切に願っています。

子供のころの思い出を取り留めもなく書き連ねましたが、あと三年で2度目の東京オリンピックを見ることがこのすばらしい街、奥沢でできるのも大変幸せなことだと感じています。これからもご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。

「私の大好きな街奥沢」

奥沢2丁目 KURASU 小針美玲

はじめまして。奥沢2丁目の株式会社KURASUの小針美玲と申します。

奥沢2丁目に平成25年の春に社屋を移転し、すっかり素敵な街奥沢に魅了され大好きな街になってきました。

春は桜も沢山見ることが出来ますし、秋には紅葉する木々も多く季節を感じる事が出来るしいい街に引越してきたなど喜んでおります。

土とみどりを守る会は、よく奥沢の街を歩くと掲示板等で会の活動記録などを拝見しチェリーセージの鉢植えが街に沢山置いてあり、季節になると赤いきれいな花を咲かせ、とても素敵な活動をされている方がいらっしゃるな。とっておりました。

私もそんな活動にご協力できないかと考えていたところ、昨年ご近所の鈴木さんがこの活動にご尽力されていることを知り早速入会させて頂きました。

弊社にもチェリーセージの鉢植えを置いてくださり、素敵な花が咲くのを待ちわびています。本当にありがとうございます。

会報誌を毎回拝見すると、街のコミュニティーが本当に大切だ。とよく書かれている方が多く私もいつも共感させて頂いております。テレビなどで社会的な不安を訴えるニュースが絶えない世の中ですが、「奥沢」という土地が緑豊かで環境が整っている街であること、人と人とのつながりがある街であることで今後も安心安全で素敵な街になるといいですね。

月に1回第三日曜日に奥沢駅前地域活動の一環として「マルシェ」の開催をしております。

是非コミュニティーの場としてもご活用ください。地域工務店として皆様のお役に立てる様色々な活動にも積極的に参加させていただこうと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

奥沢の歴史を訪ねてXVII

奥沢史跡巡り③ まちなか観光コース (ii)

(私たちの住むまち奥沢の成り立ちはどうだったのでしょうか、調査結果をシリーズで紹介します。)

今年の九品仏緑道桜祭りは開花が遅れたが、3週間に渡って花見ができ、連日宴会等で賑わっていた。

元々世田谷区東半分と目黒区西半分は武蔵国荏原郡菅刈荘という源氏の荘園であった。今は九品仏川(丑川・逆川・柳堀)が区境界であるが、南側の旧名は5丁目が奥沢村字鷺ノ谷、2丁目が等々力村字沖ノ谷で等々力村飛び地であった。

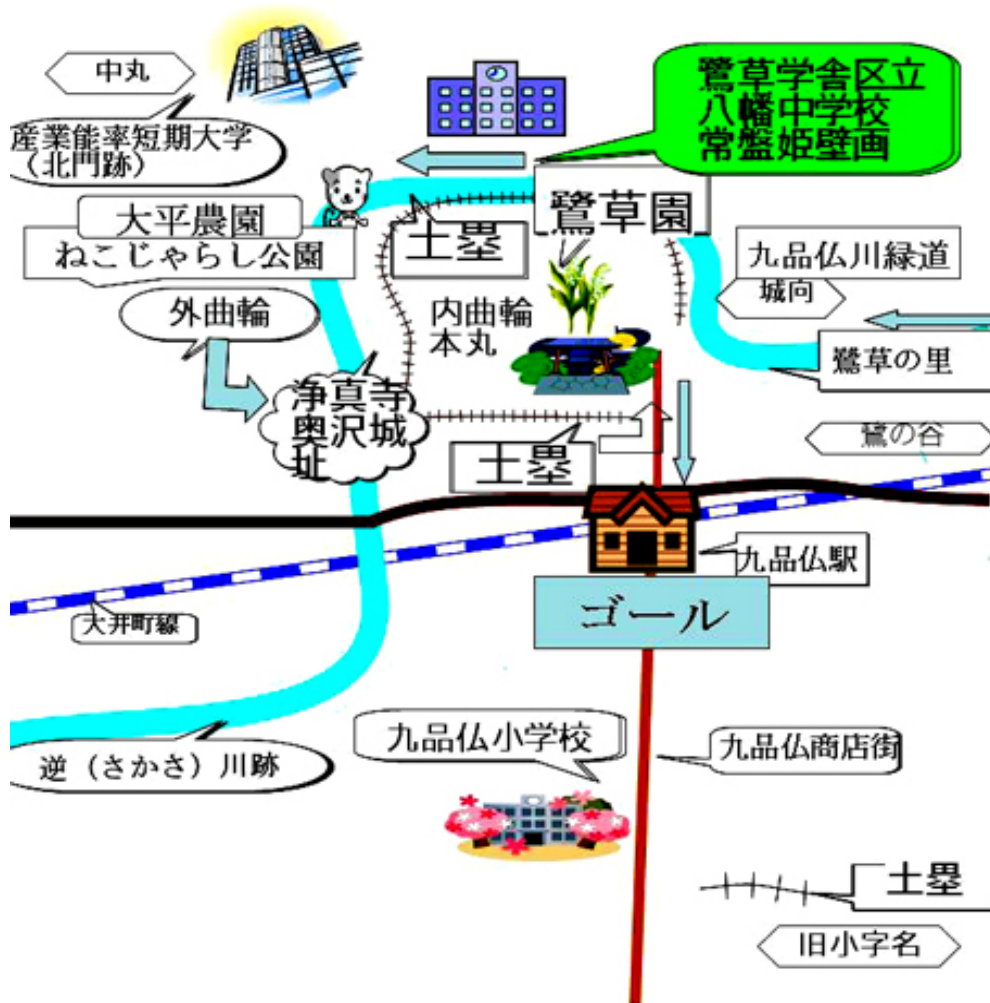
対岸の自由が丘は目黒区碑衾町字東谷畑及び谷畑根(昭和4年1万分の1地形図)であり、それ以前は衾村大字谷畑で小字に鷺草の名がと記憶しているが、文献がパソコン内で見つからず明確にできない。明治14年の古地図には衾村としか書かれていない。

この辺りは吉良氏所領で、都立大学駅の東光寺(吉

良氏の寺)等自由が丘も鷺草ゆかりの地であった。九品仏川はこの先、桜を切り、ハナミズキを植栽、途中の橋(奥沢7-4)に鷺草の里石碑を建てている。

九品仏池跡の湿地帯を抜けるとねこじゃらし公園出る。途中八幡中学校に寄り、正門そば体育館外壁にある鷺草伝説常盤姫のタイル画を見て行きたい。公園の西側に道1本入ると逆川跡の緑道と奥沢城主大平家末裔経営の大平農園(分家)がある。

土塁に沿って南の総門から浄真寺に入る。仁王門、鐘楼近くに奥沢城址石碑が建ち、本丸には本堂、鷺園、九品仏(一部解体修理中)が並ぶ。落ち葉を除かないので紅葉の時期は美しい。再び総門を出て松並参道を通るとゴールの九品仏駅前が出る。(赤松)



地域風景資産巡り(奥沢西地区)地図

春のつどい報告 「広い河の岸边」 奥沢コンサート

このコンサートは八木さんのご好意で実現されたものでした。会場は区の施設ですが、八木さんの都合の良い日は、運悪く抽選が外れ困っていました。偶々この日堀内代表の主宰するシェア奥沢で八木さんの演奏が予定されていました。代表から時間調整をお願いし一日に奥沢で二度の演奏に、八木さんが快く応じて頂きました。

グループの構成は、リーダーの八木倫明さん（アンドレスの笛ケーナ）、枝元一代さん（歌）、藤枝貴子さん（パラグアイのハープ）、古谷真未さん（チェロ）のカルテータ・リベルタ（自由の4人組）＋朝倉晴彦さん（プロデューサー）でした。

八木さんはこの日の演奏のために、プログラム解説を用意してくれました。歌の意味や曲の生まれた歴史的背景が詳細に記載されており、こんな小さな地域のグループのために丁寧な準備をされたことをありがたく思います。

最初の曲は「ラピュタ・シチリアーナ」でした。土とみどりを守る会に相応しい曲として選んだそうです。「人は土から放れて人は生きられない・・・」という歌詞があり、宮崎駿監督がこの作品に「人間の傲慢さ」を描いているとのことでした（「傲」という字は、人が土から放れる形になっている）。



演目は、「愛は花、君はその種子」、「コンドルは飛んで行く」、「鳥の歌」、「思い出のサリーガーデン」、それに、グループの象徴的な曲「広い河の岸边」で、楽器と歌が調和した爽やかさを感じました。（鈴木）

活動報告

- 恒例の春のチェリーセージプランターのメンテナンスを3月25日に行いました。少し減少気味ですが、約100鉢に剪定、土換え、施肥を行いました。大ケヤキ道、大蛇通りは年間を通じ赤い可憐なチェリーセージは街のみどりにアクセントを付けています。
- 3月5日世田谷トラストまちづくりが主催するシンポジウム「世田谷とらまちDAY2017・地域で育むいえ・庭・みどりの活かし方・残し方」を聞いてきました。現在当会が制作を進めている「みどりの街づくりガイド」と似ている活動が発表されました。成城自治会の「みどりのスタイルブック」と玉川まちづくりハウスの「みどりと花のCASEBOOK」で、いずれも住宅地の矮小化等に伴うみどりの減少傾向に対応した街づくりの在り方を提案しています。どこの街も同じ悩みを抱えているようです。（鈴木）

会からのお知らせ

- ミニ園遊会を、5月13日（土）11時30分（雨天決行）よりシェア奥沢（奥沢2-32-11 堀内宅）で開催します。皆様のお越しをお待ちしています。
- NPO法人土とみどりを守る会の総会を、ミニ園遊会に先立ち10時30分から開催します。会員の皆様には出欠の葉書をお送りしましたので、総会欠席の場合は委任状に捺印の上ご返送下さい。今回もシェア奥沢の室内開催のため、雨天でも実施します。
- 土とみどりを守る会はいつでも新会員を募集しています。会の活動を支える年会費は1口1,000円です。活動に直接参加されなくても、会活動を継続的にご支援頂けると幸いです。どうぞ御協力をお願い致します。入会のご連絡は右記へどうぞ。



（和田家の始祖 和田左衛門尉義盛の碑文）

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-32-11 堀内正弘 5701-5901
世田谷区奥沢 2-18-6 鈴木 仁 3723-6659
ホームページ : <http://tsuchimidori.net>
e-mail : info@tsuchimidori.net